



美術館・博物館・
文化会館・多目的ホール



<施設の概要>
所在地：新潟市万代島6-1
建築面積：19,571.32㎡
延床面積：31,858.80㎡
構造・規模：鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階建
設計・監理：衛機総合計画事務所、衛総合設備計画
施工：建築 / 展示場 / 福田・東急・丸運特定共同企業体
会議場 / 鹿島・大成・本間特定共同企業体
アトリウム / 大林・加賀田・第一建設特定共同企業体
電気 / 展示場 / 住友・永井・神尾特定共同企業体
会議場及びアトリウム / 関電工・北越エンジ・セコムテック / 特定共同企業体
竣工：平成14年12月

省エネ・高効率・高演色ランプを中心に採用。来場者へのグレア対策や建築との融合性を重視し柔らかな雰囲気づくりを演出。

21世紀新潟のシンボルとなる国際交流拠点

朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンターは、万代島再開発事業により「国際展示場」「国際会議場」「ホテル・業務施設」が複合的に整備された国際交流の拠点施設で、21世紀新潟のシンボリックな施設として各種大会やイベント、規模に応じた会議の開催が可能な施設です。照明は、省エネ・高効率・高演色ランプを中心に採用され、来場者へのグレア対策や建築との融合性を重視し柔らかな雰囲気づくり出す照明器具が多数使用されています。

展示ホールの照明は、高効率形1kWメタルハライドランプを光源としたバンクライトをベース照明として初期水平面平均照度1325lxが確保され、照明制御システムによる様々な点灯パターンにより、展示会や各種興行イベント等、多目的な利用に対応しています。

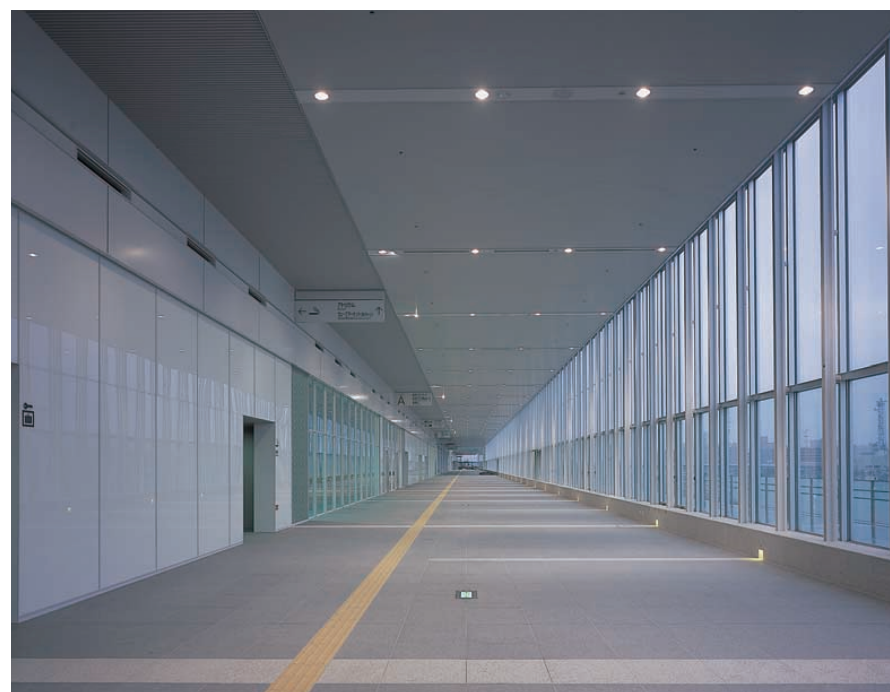
展示ホール照明の保守点検・ランプ交換は全てキャットウォーク上より行えるように配慮が施かされています。

展示場、会議室、アトリウム、ホテルをつなぐ公共歩廊(エスプラナード)の照明には、150Wおよび70Wの小形高演色形メタルハライドランプ(Ra:96)を光源に壁面照度のムラや影を抑える対策を施したウォールウォッシャーダウンライトを有効に活用。一般ダウンライト、ポーター照射用ダウンライトなどの組合せにより、建築意匠との調和が図られています。

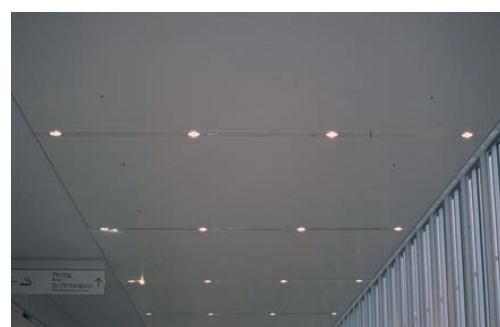
照明コンセプト

Lighting design concept

色調を忠実に再現する高演色で省エネ性に優れたランプの採用。
来場者へのグレア対策や建築との融合性を重視した柔らかな照明



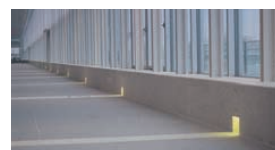
展示場、会議場、アトリウムなどを繋ぐ公共歩廊であるエスプラナード照明：小形高演色形メタルハライドランプを光源とする一般ダウンライト、ウォールウォッシャー、ポーター照射用ダウンライトを設置



エスプラナードの天井面



ウォールウォッシャーダウンライト



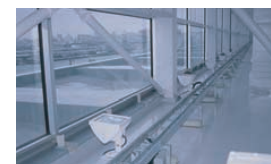
フットライト



昼間の外観



ライトアップした外観



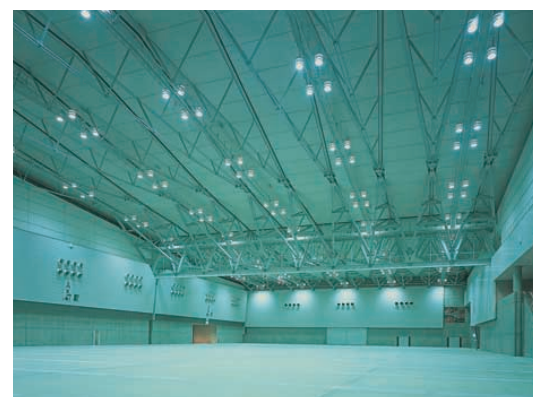
ガラス壁面に沿って配置されているライトアップ用投光器群



投光器アップ



展示ホールの全点灯時の照明：1kW高効率メタルハライドランプバンクライトを採用。照明制御システムにより展示会や各種興行に合った照明点灯を可能にしている



エスプラード側から望む全点灯の展示ホールの照明



展示ホールの1/2点灯時の照明



照明主操作盤

主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
展示ホール	バンクライト(一般照明)	特注器具	200	1kWメタルハライドランプ
	バンクライト(保安照明)	特注器具	76	250Wハロゲンランプ
	バンクライト(非常照明)	特注器具	24	500Wハロゲンランプ
	バンクライト(調光照明)	特注器具	40	500W×2ハロゲンランプ
エスプラナード	ダウンライト	特注器具	138	150W高演色メタルハライドランプ
	ダウンライト(ウォールウォッシャー)	特注器具	34	150W高演色メタルハライドランプ
	ダウンライト(ポーター照射用)	特注器具	16	70W高演色メタルハライドランプ
ライトアップ	投光器	MT-1542SR(K)KAI	21	150W高演色メタルハライドランプ
	投光器	MT-1542XR(K)KAI	50	70W高演色メタルハライドランプ
	投光器	MT-1542MR(K)KAI	20	70W高演色メタルハライドランプ
	投光器	MT-1542SP(K)KAI	28	70W高演色メタルハライドランプ
総合監視室	照明主操作盤		1	